

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和4年1月26日(2022.1.26)

【国際公開番号】WO2019/141782
 【公表番号】特表2021-511137(P2021-511137A)
 【公表日】令和3年5月6日(2021.5.6)
 【出願番号】特願2020-539283(P2020-539283)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00(2006.01)

10

A 6 1 M 37/00(2006.01)

A 6 1 N 1/372(2006.01)

A 6 1 B 5/00(2006.01)

H 0 1 Q 1/24(2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 C

A 6 1 M 37/00 5 5 0

A 6 1 N 1/372

A 6 1 B 5/00 A

H 0 1 Q 1/24 Z

20

【手続補正書】

【提出日】令和4年1月17日(2022.1.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

いくつかの実施形態では、外部通信システムは、複数の送信アンテナを使用して受信機でヌル結合信号を作成し、信号対干渉比を増加させることによって、送信アンテナに起因する受信アンテナでの結合電力の量を減らすように構成されている。これは、非常に弱い後方散乱信号でも、受信機で回復できることを意味する。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項10】

前記アンテナの後方散乱特性が、前記アンテナの負荷および/または形状を変化させる1つ以上の電気スイッチにより制御され、前記インプラントデバイスが、アンテナの後方散乱特性への異なる影響を有する複数の電気スイッチ及びフィルターを備え、後方散乱信号に対して3つ以上の異なる状態を可能にする、請求項1から9のいずれか一項に記載のインプラントデバイス。

40

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項14

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項14】

50

前記インプラントデバイスは、インプラントアンテナを使用したデータの後方散乱通信中にインプラントアンテナへの無線電力伝送が行われないように構成されている、請求項 1 から 13 のいずれか一項に記載のインプラントデバイス。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 19

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 19】

前記送信機が、体内アンテナを備えている、請求項 17 または 18 に記載の組合せ。

10

【手続補正 5】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 21

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 21】

前記外部通信システムは、複数の送信アンテナを使用して受信機でヌル結合信号を作成し、信号対干渉比を増加させることによって、送信アンテナに起因する受信アンテナでの結合電力の量を減らすように構成されている、請求項 20 に記載の組合せ。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 23

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 23】

前記インプラントデバイスを患者内に埋め込み又は挿入すること、体外にある外部通信システムからインプラントデバイスに向けて電磁波を送信すること、アンテナの後方散乱特性を制御して、それにより、アンテナからの後方散乱信号を使用してデータソースからデータを送信すること、および外部通信システムで後方散乱信号を受信することを含む、請求項 22 に記載の使用。

20

30

40

50